

平成22年度 新磯地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	新磯菊花・仲間づくり事業	【 No. 1 】
申請団体	新磯菊親会	
事業目的等	<p>菊づくりを通し、伝統ある菊文化の継承と地域の人々とのコミュニケーションをはかり、地域活性化に努めます。また、これまで会社人間とし生活し、孤独感と戦い苦勞されてきた団塊世代の人々が、高齢者と一緒に菊づくりをし、地域活動で仲間づくりができ、また高齢者と共に生きがいのある街づくりを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・菊花づくり講習会の開催(4回)</li> <li>・展示会の開催(10日間)</li> </ul>	
交付決定日	平成22年 6月 8日	
交付決定金額	100,000 円	(全体事業費 110,033 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新磯地区自治会連合会の協力によりポスターを設置</li> <li>・11月7日新磯公民館主催「あらいそ陽だまり広場手作り音楽会」とPR相互協力</li> <li>・10月31日から11月9日まで菊花展を開催</li> <li>・11月5日新磯地区社会福祉協議会主催「新磯福祉の集い」で子菊のプレゼントとPR</li> <li>・新加入者が5名加わり会の運営に活気が増した。</li> </ul> <p>◇自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新磯まちづくりセンターを通し、新磯自治会等に菊花展開催のポスター掲示依頼をし連携を深めることができ、地域全体に大変大きな効果であったと思われる。</li> <li>・社会福祉協議会主催の「高齢者のつどい」には、小菊のプレゼントを行うことができ、新磯公民館主催の「あらいそ陽だまり広場手づくり音楽会」では、広報支援などができ、他の団体との交流も出来た。</li> <li>・地域に菊づくりの仲間と、伝統ある菊文化を継承したいという気持ちを、地域活性化事業を機会に組織的な活動の大切さとともに再確認する事ができ、花を育てることを通し、人と人との関係を組織的に行動することを痛感した。</li> <li>・街の中心である、新磯公民館と新磯まちづくりセンターの駐車場で菊花展を開催することで、地域の人々との会話が深まり交流を持つことができ、地域活性化につながったと思われる。</li> </ul>	
市 評 価	<p>菊栽培を通じた高齢者の仲間づくりがテーマであった。地区社会福祉協議会主催の新磯福祉の集いでは舞台そでに菊の展示を行うとともに菊花のプレゼントを行いながら展示会や会員募集を積極的に行っていた。</p> <p>活動の継続性については、仲間(会員)を増やしていくことが重要であると判断しており、その仲間づくりの面では新たな会員が増えたことについて効果があったものと解している。今後は、格式も重要であろうと思うが、地域で仲間をつくり、大切に、お互いに助け合う・励まし合う活動を展開し、より一層の仲間づくりが推進されることを期待します。</p>	
備 考		

申請事業名	自治会マップ活用事業	【 No. 2 】
申請団体	新磯地区自治会連合会	
事業目的等	<p>自治会名や自治会境界線を標記したマップを作成し、自治会活動のさらなる充実と、民生委員等へ地図を提供するなどし、地区内の各種活動の活発化を図る。また、次年度以降は、観光、防犯、健康などのテーマを決め、地図内に情報を落とすなどし、地区住民の情報共有化や自治会加入促進などへ発展させていく。</p> <p>自治会活動の充実を図るとともに、地区自治会連合会が地域の公共的活動を担う団体等をサポートするなどのリーダーシップを発揮し、地域のまちづくりを推進する。</p> <p>・情報整理作業・企画調整会議・製作・各自治会等へ配付</p>	
交付決定日	平成22年 8月 4日	
交付決定金額	378,000 円	(全体事業費 378,000 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会境界の線引き、不明瞭個所の調査整理、調整会議の開催</li> <li>・マップ作成(33自治会エリア図、新磯地区全体図)</li> <li>・単位自治会、地区民生委員・児童委員、学校等へ提供</li> </ul> <p>◇自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会長も任期で交代することから、改めて地元自治会のことを把握する機会となった。</li> <li>・掲示板、防犯灯、役員位置など、自治会活動での情報管理に役立つ。</li> <li>・民生委員との連携を強化し、地区のリーダーシップを発揮することができた。</li> <li>・地図から様々な課題を抽出する機会となったようであり、地区のことをよく知る機会となったようである。</li> <li>・次年度以降は、自治会活動の推進を図るため、マップを活用した情報発信ツールの基本アイテムとして活用していきたい。</li> </ul>	
市評価	<p>地域の公共的な役割を担う自治会がリーダーシップを発揮し、民生委員等の地区内の団体等へ資料提供による支援を行った。将来構想では、自治会加入促進、地域データをマップを活用し取り組むとのことであり、大きな期待を寄せている。</p>	
備考		

申請事業名	勝坂歴史公園芝ざくら植えかえ事業	【 No. 3 】
申請団体	勝坂芝桜愛好会	
事業目的等	<p>勝坂歴史公園(全体面積 6700 m<sup>2</sup> 管理面線 5200 m<sup>2</sup>)に植栽している芝ざくらの植えかえと新規植栽を行う。</p> <p>草木に覆われ物騒な場所であった勝坂歴史公園を平成18年度から市アダプト制度で除草するとともに、訪れる市民のよりよい憩いの場所となるよう芝ざくらを植栽し、平成20年度からは「勝坂芝ざくらまつり」を開催することにより、地域の活性化にも努めてきたが、会の高齢化が進むなどにより活動の継続性に課題があることから、新たな仲間づくりを推進し活動の活性化を図る。</p> <p>・植えかえ</p>	
交付決定日	平成22年 8月 5日	
交付決定金額	346,000 円	(全体事業費 360,028 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土壌整備</li> <li>・約 120 坪に 2,500 株の芝ざくらの苗を植栽</li> <li>・一部植えた芝ざくらの苗が盗難にあったため、急遽、公園課の許可を受けた上で防止策を実施</li> <li>・事業協力者の拡大については継続して取り組んでいきたい。</li> </ul> <p>◇自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植栽範囲を拡大したことにより、見事に広場がよみがえった。</li> <li>・芝ざくらの苗の植栽を通じて、ゴミや雑草を駆除したことから、勝坂歴史公園の利用者や歩行者は安心して園路等を利用しており、環境保全や安全安心のまちづくりに寄与していると考えている。</li> <li>・メンバーが積極的に作業してくれたため、大変だったが作業を終えることができ、来春に開催する勝坂芝ざくらまつりでは、参加者に癒しの場を提供できると評価している。</li> </ul>	
市評価	<p>仲間づくりには配慮が欠かせないことから、地元自治会との協力関係を深めることを交付条件に取り込んだが、なかなか上手く進捗することができなかつたようであり、次年度に向けて、活動の継続性について研究してもらいたい。</p> <p>前述のとおり課題はあるが、勝坂歴史公園の環境保全や歩行者の安全安心面について事業効果が反映されている点は評価に値すべき活動であり、また、植え替えの成果が現れる来春以降の勝坂の芝ざくらまつりの開催によって、地域に活気をもたらせると期待しています。</p>	
備考		

申請事業名	相模川下磯部地区芝ざくら植え替え保全事業	【 No. 4 】
申請団体	相模川芝ざくら下磯部愛好会	
事業目的等	<p>相模川の自然と環境を守るため堤防敷きに「芝ざくら」を植え育て不法投棄の防止と河川環境の改善を図るため下磯部自治会、老人会及び大風保存会が結束して、平成 16 年 7 月「相模川芝ざくら下磯部愛好会」を結成し、平成 16 年度から 18 年度の 3 か年間で延長役 540m 区間の堤防を整備すると共に芝ざくらを植栽し、今日まで地域が一丸となって、その育成と維持管理を実施している。</p> <p>芝ざくらは 4～5 年経過すると老化して枯れ始めますので、新しい苗を植え順次更新させる必要があります。このため、この会が維持管理している延長やその面積も広いため、新しい苗の確保が大きな課題でありました。しかし、今回の地域活性化事業交付金を活用することにより、この課題も解消でき引き続き河川環境の保全と併せて市内外から「芝ざくら」の観賞に訪れる人も年々多くなり、相模原市の魅力ある観光資源の拡大に寄与できる。</p> <p>・芝ざくら苗の植え替え</p>	
交付決定日	平成 22 年 8 月 20 日	
交付決定金額	500,000 円	(全体事業費 505,687 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存法面の芝ざくら除去と法面整形を実施した。</li> <li>・約 110m の区間に 4,500 株の新しい苗を植え付け、更新することができた。</li> <li>・帆掛け舟 5 隻の型枠設置及び盛土作業を実施した。</li> </ul> <p>◇自己評価</p> <p>・昭和初期頃は、相模川に帆掛け舟が往来していた。こうした風景を再現すべく、区間内に新たに帆掛け舟 5 隻が南風を帆いっぱいを受け、上流へ運航している姿を芝ざくらで造形した。こうした特色を活かし、そして芝ざくらの開花をより一層魅力あるものとし、訪れる人に安らぎと感動を与えることができ、さらに、相模原市の観光資源の拡大と河川環境の改善に寄与。</p> <p>・本事業個所は、平成 17 年に植栽して以来 5 年が経過し、老化現象が進んできている。また、今年の夏はかつてない連日の猛暑日が続く芝ざくらが枯れはじめてしまった。幸いにして、本年度は地域活性化事業で植え替え事業を計画したことは幸運にも的を得た適切な時期に植え替えの実施ができた。</p> <p>・自治会、老人会及び大風保存会など地域住民の積極的な参加と協力を頂き計画とおりの実施ができた。このことは、日頃、地域の皆さんが常に奉仕活動をはじめ地域の環境改善の普及活動に積極的に取り組んで頂いている姿勢の表れであり、そしてこのことが今日まで芝ざくら事業が継続して実施できている原動力につながっている。</p>	
市評価	<p>芝ざくらの植栽後、2 年もすれば一面敷詰め満開の花が楽しめるようになることは、シティセールスのほか、環境保全の点でも多大な貢献をしており、地域が益々元気になる取組みである。</p> <p>今後も、いつまでも持続的に活動が行われることを期待します。</p>	
備考		

申請事業名	相模川新戸地区芝ざくら植え替え保全事業	【 No. 5 】
申請団体	新戸芝ざくら管理委員会	
事業目的等	<p>相模川新戸地先第1堤防の法面は、高さ2メートルを越える雑草が繁茂し、また不法投棄が絶えないことから、この堤防の法面を綺麗に整備すれば、不法投棄やごみの投棄はなくなるだろうと考え、「孫への遺産 花の絨毯 芝ざくらづくり」をモットーに、平成14年9月から相模川に芝ざくらの植栽を開始し、現在では約1,560mの区間の芝ざくらの育成と維持管理をすることにより、毎年、花の咲く頃には、多くの市民等に憩いの時間を提供するとともに、相模原市の観光振興に寄与している。</p> <p>現在、新戸芝ざくら管理委員会では、市からの委託を受けて植栽地の除草等を行っているが、芝ざくらは植栽してから4～5年もすると老化して枯れ始めてしまうので、順次植え替えを行う必要があり、また面積が拡大していることから、近年は植え替えにかかる自主経費の課題や人材不足が深刻化していました。このため、新たな地域の協力者の参加を募りながら芝ざくらの苗を大量に購入し植え替え、芝ざくらラインの保全を推進するとともに、さらなる相模原市の観光資源の魅力向上に寄与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芝ざくら苗の植え替え</li> </ul>	
交付決定日	平成22年 8月20日	
交付決定金額	500,000 円	(全体事業費 500,000 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総延長 1,560Mに対し、168.5Mの区間の約 520 m<sup>2</sup>に 8,330 株を植え替えた。</li> <li>・市体育協会等と連携し、除草や植替え作業の一部を行うなど、工夫して取り組めた。</li> </ul> <p>◇自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川敷への不法投棄防止に寄与した。</li> <li>・25cm□で1株を植えているので、1m<sup>2</sup>にすると16株を植えているが、問屋から買うと1ポット100円はするので5,000株しか買えないため、地元生産者から1ポット60円で仕入れたため、今回予算を1.6倍の効果で活用できた。</li> <li>・植替えた部分は2年もすれば元気な姿をみせることだと思う。</li> <li>・相模川芝ざくらまつりに訪れる観光客に楽しんでもらうことができる。</li> <li>・芝ざくらの苗を植替えることは非常に大きな課題であった。今回は活性化事業交付金があったが、交付を受けた予算では全体の1/10程度を賄うことがやっとであり、市のほうでシティセールスでPRするのであれば、これから先のことを真剣に考えてほしい。反面、我々も企業の社会貢献活動の一環として行われている補助金に応募したり、市体育協会やサポートセンターなどと共同作業の機会をつくるなど、様々な取組みを行い、がんばっていきたい。</li> </ul>	
市評価	<p>芝ざくらの植栽後、2年もすれば一面敷詰めた満開の花が楽しめるようになることは、シティセールスのほか、環境保全の点でも多大な貢献をしており、地域が益々元気になる取組みである。</p> <p>今後も、いつまでも持続的に活動が行われることを期待します。</p>	
備考		

申請事業名	ざる菊花見会	【 No. 6 】
申請団体	ざる菊愛好会	
事業目的等	<p>平成21年度から、勝坂歴史公園南側に位置するところ600坪に、住民有志で白、黄、紅、紫の約1,000株のざる菊を栽培しており、10月下旬から11月中旬までざる菊の花見会を開催する。(入場無料)</p> <p>新磯地区は、雄大な相模川や段丘の樹木が多く残る自然豊かな地域であるとともに、史跡勝坂遺跡などの貴重な文化財、相模の大凧や相模川の芝ざくらまつりなどの地域活性化イベントなど、地域資源が非常に豊富なすばらしい地域であり、こうした地域の良さをさらに高めるため、住民有志による「ざる菊」による花の名所づくりを推進し、地域の更なる活性化に寄与することを目的とする。</p> <p>・ざる菊花見会の開催 平成22年10月下旬から11月中旬まで</p>	
交付決定日	平成22年 8月20日	
交付決定金額	350,000 円	(全体事業費 350,125 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレット1万部作成</li> <li>・10月末から11月21日までざる菊花見を実施</li> <li>・11月3日は近くの史跡勝坂遺跡公園で開催された勝坂遺跡縄文まつりと連携</li> <li>・11月6日は式典開催</li> <li>・来場者は約5,000人</li> </ul> <p>◇自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年分のパンフレットを作成したつもりだったが、申し出が多く半分以上出してしまうほど反響があった。</li> <li>・昨年はじめて実施した花見会の3倍もの人出があり大盛況であった。</li> <li>・野菜の販売のニーズが多く、不足する状態であった。</li> <li>・グループホーム等の団体客が大幅に増え、楽しんでいただきよかった。</li> <li>・ざる菊による花の名所づくりを行い、地域の更なる活性化に寄与することができた。</li> <li>・土日、祝日は、来場者が昨年の3倍程度になり、来場者への道路横断にはさらなる注意が必要であった。次年度は交通整理員等の配置を検討したい。</li> </ul>	
市評価	<p>JA 相模原市と連携し、ざる菊の魅力をよく研究していた。また、JA 相模原市新磯支店が問い合わせ窓口になるなど連携体制が整っていた。</p> <p>新磯地区では、春の桜まつり、相模川芝ざくら、節句の相模の大凧とれんげなど、イベントが一時に集中している。その後も田植え、地域の祭り等が行われているが、秋は少し寂しい感があるため、田園の彼岸花や菊花による秋の見所となればと交付した狙いのおおりに、大きな成果があったようである。</p> <p>祭りごとが大きくなると課題も発生してくるが、「観光」としての価値は十分にあると判断しており、勝坂歴史公園や史跡勝坂遺跡公園等の近隣施設とネットワークの形成と、地元商店などに還元されるまちづくりが進むことを期待します。</p>	
備考		

申請事業名	新磯地区観光イベント支援事業	【 No. 7 】
申請団体	新磯観光協会	
事業目的等	<p>本会は、新磯地区の観光事業の振興と、健全な発展のために寄与することを目的とし、新磯地区自治会員で構成され、委員としては、地区自治会連合会長、各地区自治会連合会長、新磯商盛會役員、地区老人クラブ連合会長及び相模の大風文化保存会長があげられている。新磯地区では、相模の大風まつりや相模川芝ざくらまつりなどの代表的なイベントのほか、自治会と連携して取組む新磯桜まつりや、市と協働する史跡勝坂遺跡縄文まつり、市民団体主体のざる菊花見会などのイベントが行われる機会が多いことから、新磯観光協会として、観光資源と評価できる事業等の魅力を高めるための支援を行うものである。</p> <p>・新磯地区のイベントPRの充実 ・地区で実施されるイベントの魅力づくりに関する支援</p>	
交付決定日	平成22年12月28日	
交付決定金額	490,000 円	(全体事業費 533,235 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内の主要団体へ支援の事業計画を説明</li> <li>・支援ルールの作成</li> <li>・イベント支援の一環として南区情報提供コーナー等へPR掲示依頼、実施</li> <li>・新磯桜まつりで披露する計画だった購入物品のお披露目は、東日本大震災の影響により、まつり自体を中止したため実施できなかったが、新磯まちづくりセンター施設を利用させてもらいミニ展示などを行った。</li> </ul> <p>◇自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光を主眼とした新磯地区の一体感の醸成が促進された。</li> <li>・おもてなしの心が言われているが、単に物品を購入したのではなく、カラーコーンなどの安全安心やお年寄りや小さな子どもたちのために低価格な布ベンチシートを購入し、イベント会場へ容易に設置するなど、来場者のために物を揃えることができた。</li> <li>・自治会員を中心に構成している観光協会であるため、資金的に限度があるが、交付金を活用したことで、今後益々、各種イベントが充実することだと思ふ。</li> <li>・着々と準備を進めてきたが、東北関東大震災の影響により各種イベントが自粛されたことにより不十分なところもあるが、これから地区内の観光を推進するため、支援の責務を果たしてまいりたい。</li> </ul>	
市評価	<p>平成22年度の新磯地区の地域活性化事業交付金は、観光の振興に関する要素を含んだものが多くあり、新磯地区の個性がよく出ていたと捉えています。</p> <p>それらをとりまとめる組織として、新磯観光協会の組織強化は必要なことであると思ひますが、条件整備が整っていない状態であるとみています。</p> <p>各々の事業の魅力をさらに高めるためには、中間機能を有した観光協会が、華(花)のあるまち・人がふれあうまち「新磯」を目指したソーシャルキャピタルの輪をさらに膨らませよう機能を発揮し、地域活性化のために取り組むことを期待します。</p>	
備考		

申請事業名	相模原市磯部民俗資料館の活用促進事業	【 No. 8 】
申請団体	相模原市磯部民俗資料保存会	
事業目的等	<p>相模原市磯部民俗資料保存会は、先人の遺徳を後世に伝え残していくことを目的に、昭和56年に発足し、この地域の各家庭に眠る昔の生活用品、農機具、古民具、写真などを収集し、故 野頭謙一氏の敷地内の納屋を改修して相模原市磯部民俗資料館を開館しました。これまでに市内小学校の生徒など、市域内外から多くの方にご来館していただいております。また、江戸時代中期から昭和初期までの間、新磯地区の相模川水運の主役であった「帆かけ舟」の保存やその紹介を行うため、毎年8月第1日曜日、磯部頭首工上流域にて帆かけ舟実演会の体験試乗等を行っています。</p> <p>こうした地域の文化等をパンフレットにまとめ、地元小中学校をはじめとした児童生徒に対する指導を通じて地域文化の保存及び継承の担い手の育成を推進するとともに、市内の公共施設等にパンフレットを設置して区内・市内交流の活性化を図るなどの情報提供を行い、相模原市磯部民俗資料館の活用を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレットの作成</li> <li>・小中学生の児童生徒への学習教材としての活用</li> <li>・各種展示会での配付</li> </ul>	
交付決定日	平成23年 2月14日	
交付決定金額	252,000 円	(全体事業費 252,630 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報整理</li> <li>・パンフレット1万部作成</li> <li>・新磯まちづくりセンター等の市施設へ設置のお願い</li> <li>・小中学生へ配布</li> </ul> <p>◇自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上磯部地区住民の誇りや意欲の向上を感じた。</li> <li>・会則の見直しや役員体制の再確認、資料館並びに地域の再発見につながり、役員のモチベーションがあがり、活気があふれている。</li> <li>・恒例的に学習支援を行っている新磯小学校から写真等の提供も受けながら内容をつくることができ、今後の指導環境も向上した。</li> <li>・年度末の完成となってしまったが、事業実施もでき、さらには今後の事業(展示会・帆かけ舟復元実演会等)もパンフを使って効果的に説明することができ、来場者に喜んでいただくとともに我々の活力向上につながる。</li> <li>・まちづくりセンターと打合せを行いながらつくることができ、新磯桜まつり展示時の配付とH23南区の健康ウォーキング事業連携時の配付は震災の影響で中止したが、新たな取組みが好転しているように感じており、今後の地域の活性化に寄与できると感じている。</li> </ul>	
市評価	<p>今回は、会則や資料館自体の情報を再確認することで、活動の重要な目的である、地区の先祖や人を思い偲び、そして、次代に伝える活動を再認識する機会となっていたのではないかと思います。</p> <p>今後、益々地域の人を取り込んで、地域の文化を子どもたちに語り継ぎ、伝統の帆かけ舟の勇姿をたくさんの人々にみってもらうことにより、地域文化を守り育てるなどの活動の活発化を期待します。</p>	
備考		